

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 【1】 あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施

施策の内容 DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力を許さないという意識を社会全体で共有するために、様々な機会を通じて年齢層にあわせた広報・啓発活動を行います。

	90	数 値 目 標	《指標》デートDVも含むDV防止に関する啓発活動の実施回数 ※( )は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			年6回	(年8回) 年13回	(年8回) 年21回	(年9回) 年21回	(年9回)	(年10回)	年10回
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV対策ネットワーク会議のメンバーである防犯協会、人権擁護委員、主任児童委員などとも連携しながら、11月にパープルリボンキャンペーンを実施（街頭キャンペーン、パープルリボンを使った展示、暴力をなくすためのメッセージ発信など）。</li> <li>・デートDV防止啓発パネルを市内高校などにおいて巡回展示。展示が1週間程度であることもあり、啓発効果をあげるため、パネル素材を印刷した小冊子も配布。</li> </ul>								
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回パネル展10回。街頭キャンペーン5か所。男女共同参画セミナー（DV）2コミュニティ</li> </ul>								
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>パープルリボンキャンペーンを実施。</li> <li>・街頭キャンペーン3か所（フジグラン丸亀、ゆめタウン丸亀、飯山総合保健福祉センター【子育てフェスタ協賛事業】）。防犯キャンペーンとのコラボで1か所実施（マルナカ土器店）</li> <li>・デートDVパネル（8枚組み）を活用し、パネル展示10か所（四国職業能力開発大学校、丸亀高校、飯山高校、丸亀城西高校、藤井高校、村上学園高校、星槎国際高校丸亀学習センター、松陰高校丸亀校、さぬき福祉専門学校、丸亀市医師会附属看護学院）</li> <li>・パネル素材を活用した小冊子印刷・配布（10校、1,180冊）</li> <li>・パープルリボンツリー展示・巨大パープルリボンを地区コミュ対象としたDV防止セミナー（男女共同参画セミナー）参加者と一緒に作成し、こちらも展示・1か所（市役所本庁）</li> <li>・コミュニティバス（16台）内でのパープル・オレンジリボンを使った啓発実施</li> <li>・DV相談窓口啓発シールを民間店舗等の男子・女子トイレの手洗い場の鏡面に貼付（93か所）</li> </ul>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	デートDVパネル展、小冊子配布を継続実施することにより、若年層へDV実態周知だけでなく、相談窓口の周知が効果的に実施できた。DVについては、男性相談も実施していることを男性トイレに相談窓口啓発シールを貼ることで実践できた。								
事業の実施状況を踏まえた課題	パネル展を連続実施することで「また見た」といった人が増えた反面、「ほかに展開はないのか」とブラッシュアップを希望される声に経費的な面・素材の展開という点で実行に移せずにいる。								

91		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVやセクシュアル・ハラスメントなどの認識を高めるために「女性に対する暴力をなくす運動」期間にキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性に対する暴力をなくす運動」期間やその他の機会を捉えてキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。</li> <li>・DVネットワーク会議では職員への意識啓発を行い、窓口対応における連携体制の確認及び見直しを行う。</li> </ul>							
R元事業実績	<p>男女共同参画室と啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場で児童虐待防止とDV防止の啓発チラシ及びティッシュを配布。（7月）</li> <li>・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に児童虐待防止とDV防止をコラボし、ゆめタウン丸亀とフジグラン丸亀の2箇所で同時にキャンペーングッズ等を配布。（11月）</li> <li>・DVと児童虐待に関する出前講座。（10月・11月）</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<p>DV防止の啓発品がより多くの人々の目に触れることができた。</p> <p>出前講座を実施することにより、市民へDV・児童虐待の啓発ができた。また、市民のDV・児童虐待の意識の確認ができた。</p>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>DVネットワーク会議を開催し、関係機関と具体的な対応について踏み込んだ協議ができるようにすることが課題である。</p>							

92		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観や園行事、保護者会・PTA活動等の様々な機会を通して、あらゆる暴力を許さないという意識が持てるよう啓発を行う。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料回覧や・掲示、配布物等での啓発活動を積極的に行う。</li> <li>・日々の保育を通して、具体的な場面での暴力を許さないという意識を、年齢に応じて子どもたちに指導していく。</li> <li>・人権における啓発活動として、友達や周りの人と仲良くすること、自分も他人も傷つけてはいけないことを、様々な表現活動を通して意識を高めていく。</li> <li>・保護者にも参加を呼びかけた人権における会合や啓発活動で、友だちや周りの人と仲良くすること、自分も他人も傷つけてはいけないことを、劇や表現、あそび等を通して指導する（年4～6回）。</li> </ul>							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者自身が正しい認識を持つため研修を行った。また、出前講座を実施し保護者の啓発を行った。</li> <li>・人権における集会や表現活動の場で、思いやりや自他共に大切にすることを繰り返し伝えるように取り組んだ。</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動だけでなく言葉による暴力も認識し、あらゆる暴力を許さない意識をもてるようになった。</li> </ul>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も理解だけでなく実行とつながるように、研修や様々な情報を得ながら積み重ねていく。</li> </ul>							

93		数値目標						
担当課	環境安全課(R2～危機管理課)		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	・安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、関係機関と連携し、暴力の現状などについて情報共有を行う。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・男女共同参画室、子育て支援課から現状報告を受け、安全安心まちづくり協議会を年1回開催。警察、防犯協会、教育委員会、学校、地域などとの情報共有を行う。							
R元事業実績	7月に「丸亀市安全安心まちづくり推進協議会」を開催した。防犯対策をはじめ、交通安全対策や地域防災などについて協議を行った。また、丸亀警察署生活安全課より、丸亀署管内の犯罪状況として、「児童虐待」の現状報告があり、情報共有を図った。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	「丸亀市安全安心まちづくり推進協議会」の開催により、地域や学校など様々な団体に対して、本市の取り組みを報告し、さらに丸亀警察署生活安全課からの犯罪状況報告もあり、情報共有を図ることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	暴力行為を未然に防ぐことは大切ではあるので、今後も各部署と連携をとりながら、情報共有を図っていきたい。							

94		数値目標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	・発達段階に応じた人権教育を推進し、あらゆる教育活動を通じて望ましい人間関係についての学習の充実を進める。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・望ましい人間関係について各学年に応じた学習を進められるよう、各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を必ず位置付ける。その中で、ロールプレイや参加型体験学習など、実践に繋がる学習を取り入れるよう各校の計画を見直していく。							
R元事業実績	・各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を位置付け、学校の実情や学年格差に応じて計画的に指導した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・発達段階に応じて、望ましい人間関係についての学習が進められたことにより、あらゆる暴力のない社会が望ましいと感じる感覚の育成に繋がった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・暴力を許さない社会が望ましいと感じられるようになったことにより、実践に結び付けられるような指導を充実していく必要がある。							

施策の内容	暴力に対する抑止力となるよう、地域の意識を高めるような啓発活動を行います。							
	95	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティを対象として開催する男女共同参画セミナーのテーマの一つに“DV防止”を設定。セミナーでは、参加者が意見交換できる時間も設ける。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2コミュニティで実施。</li> <li>・キャンペーンカラーであるパープルで作ったリボンを一緒につくり、キャンペーンの認識向上に役立てる</li> </ul>							
R元事業実績	3コミュニティで実施（45人参加）。城乾コミュ、広島コミュの参加者には、パープルリボンの作成だけでなく、11月の市役所展示に利用する大きなパープルリボン作成にも携わっていただいた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	DV防止のセミナー参加者は、これまで啓発対象どまりであったが、今回啓発素材を一緒に作ることで、啓発主体としての意識付けもしていただけたのではないかと考える。巻き込み型の啓発活動として一歩踏み出せたと考える。							
事業の実施状況を踏まえた課題	開催コミュニティの確保が年によってムラがある。定期的を開催するような仕組みとなれば、地域の方々の意識向上につながるのではないかと考える。							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【1】 あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施
----------	-------------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	巡回パネル展や街頭キャンペーン活動などの啓発に取り組んでおり、市民意識も高くなっている。
子育て支援課長	B⇒ B	女性に対する暴力をなくす運動に関する啓発については、人権課と連携して児童虐待防止を含めたキャンペーン活動を実施するなど、当初の計画に基づいて実施することができた。
幼保運営課長	B⇒ B	資料の回覧や配布などの啓発活動を行うことで、保育士及び保護者への意識啓発に繋がっている。また、劇や表現あそび等を通して保護者と一緒に子どもたちへの意識啓発もできているため。
環境安全課長(R2危機管理課)	B⇒ B	安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、警察や学校、地域等と定期的に協議会を開催し、情報共有及び意見交換を行うことができています。
学校教育課長	B⇒ B	各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を必ず位置付けるよう指導・確認することで、発達段階に応じた望ましい人間関係についての学習が進められた。また、ロールプレイや参加型体験学習など、実践に繋がる学習を取り入れるよう各校の計画の見直しを依頼し、当事者の立場で考えられる人権感覚の育成を図った。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【2】 女性相談窓口の周知
------	---------------

施策の内容	イベントや研修会の場などで相談窓口の周知を行うとともに、民間店舗などに相談カードの設置などについて協力を求めます。
-------	---

96		《指標》相談カード・シールの設置か所数 ①公共施設 ②民間施設 ※( )は当該年度の目標値							
担当課	人権課男女共同参画室	数値目標	H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			①24か所 ②2か所	(①26か所) (②40か所) ①24か所 ②24か所	(①30か所) (②80か所) ①43か所 ②59か所	(①34か所) (②120か所) ①109か所 ②82か所	(①38か所) (②160か所)	(①40か所) (②200か所)	①40か所 ②200か所
			《指標》DV相談の窓口として、次の相談先を知っている人の割合 ①丸亀市女性相談 ②香川県子ども女性相談センター						
			H27	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
	①19.1% ②19.1%	—	—	—	(①50.0%) (②50.0%)		①50.0% ②50.0%		

R元事業計画	①公共施設や民間店舗、その他の協力してくれる企業などに、相談カード・シールの設置・貼付を依頼する。 ②暴力防止のための啓発を行う際に相談窓口の周知を行う。
--------	--

R元事業計画に関する具体的な目標	①公共施設32か所、民間施設60か所。(当初計画では120となっているが、60に修正) ②啓発活動を17回実施。※6【1】90記載の数値
------------------	---

R元事業実績	①相談カードの設置は衛生面の問題もあり新規場所開拓はしないこととした。男性相談者も存在するとの配慮から、昨年度に引き続き男性トイレの鏡面へシール貼付を実施。公共施設109か所、民間施設82か所にシールを貼付した。(数値目標については当初、施設数をカウントすることとなっていたが、目にする機会確保という観点からシール設置か所(貼付枚数)数にカウント方法を変更。公共施設数は大幅にクリアしているが目標値は変更しないこととする) ②啓発活動を21回実施。
--------	---

目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	市内高校等において、デートDV啓発パネルを巡回展示したり、パネル素材を活用した小冊子の配布をしたりすることで、相談窓口の認知度合が若年層を中心に高まったと考える。
---------------------------	---

事業の実施状況を踏まえた課題	シールの大きさなのか、貼る位置の問題なのか不明だが、男性トイレでの相談窓口等のシールについて認知度合が低い感じがする。
----------------	---

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【2】 女性相談窓口の周知
----------	---------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	高校生に対する情報発信を積極的におこなっており、若年層のDVに対する意識も高まっていると考えている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	[3] 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施
------	---------------------------

施策の内容	被害者を発見する可能性の高い保育士や教職員、救急隊員などに理解を促し、日常業務の中で被害者が早期に発見されやすい環境づくりに努めます。							
97		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	・子育て支援課と連携しながら、保育所、幼稚園、こども園に対して、DVに関する情報提供や相談窓口の周知を行う							
R元事業計画に関する具体的な目標	まずは資料提供。希望があれば職員研修の実施							
R元事業実績	改めて、相談窓口一覧の配布はしていない							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	十分な支援とはいえない							
事業の実施状況を踏まえた課題	幼保運営課を通じて、施設側の現状及びニーズの把握が必要							

施策の内容	民生委員・児童委員や人権擁護委員に対し、被害者の早期発見などについて、理解と協力を求めます。							
98		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	・人権擁護委員と意見交換しながら、DV防止啓発を連携して行うとともに、DV被害者の早期発見について協力を求める。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・意見交換、啓発実施各1回。（主任児童委員の定例会において子育て支援課が事例発表を行っているが、その会において、意見交換できるよう調整し、参加する）							
R元事業実績	実施できず							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題	人権擁護委員との意見交換を担当として積極的に求めていく必要があるが、積極性に欠けている							



## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【3】 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施
------	---------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	関係課と連携しながら、保育所、幼稚園の職員に対して情報提供や、職員研修を実施しており、早期発見通報に対する意識も高まっている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

#### ※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 **【4】** 相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実

施策の内容 被害者の人権に配慮した対応を行うように、相談員の資質向上に努めます。

99		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員の資質向上に向けて、県などが行う相談員の研修会及び事例検討会へ参加する。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>県や他機関が行う相談員の研修会及び事例検討会へ積極的に参加する。</li> </ul>							
R元事業実績	県が行う研修へ積極的に参加し、相談員としてのスキルアップに努めた。また困難なケース等は上司の指示を仰ぐなど、課全体で取り組んだ。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	相談があった場合は2名体制で対応、また相談員間でケースを共有することで、支援の方向性を共有することができた。相談員全員でケースを丁寧に相談し合うことで、相談員の負担軽減となった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	DVのみならず、幅広い内容での女性相談があるため、内容に応じて適切な対応ができるよう引き続き相談員のスキルアップが必要である。							

施策の内容	相談員のメンタルヘルスクアを行うなど、一人で抱え込むことのない体制をつくれます。							
	100	数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員の資質向上に向けて、県などが行う相談員の研修会及び事例検討会へ参加する。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>県や他機関が行う相談員の研修会及び事例検討会へ積極的に参加する。</li> </ul>							
R元事業実績	毎月室内会議を開催し、ケースの課題を室員全員で話し合った。また困難なケース等は上司の指示を仰ぐなど、課全体で取り組んだ。SVが新たに配置され、ケースの相談ができるようになった。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	相談員全員でケースを丁寧に相談し合うことで、相談員の負担軽減となった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	心理的負担に対してアドバイスできる専門相談員への相談があまりできず、ストレス解消までは至らなかった。意見交換しやすい環境づくりが課題となる。							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【4】 相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実
----------	-------------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B⇒ B	相談員の資質向上のために各種研修に積極的に参加しており、その成果が日頃の相談対応に現れていると思う。また、相談員間の横の連絡についても、定期的に室内会議を開催するなど適切な体制づくりを行えている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【5】	相談室の整備
------	-----	--------

施策の内容	被害者のプライバシーが守られ、落ち着いて相談できる相談室を整備します。
-------	-------------------------------------

101		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	新庁舎構想に落ち着いて相談できる相談室の確保はしたが、移転までの間、別室で家庭児童相談室を設置し窓口対応を行う。							
R元事業計画に関する具体的な目標	予約有りの相談は相談室の確保し、突然の場合は別室に設けた家庭児童相談室の窓口でプライバシーの確保に十分な配慮をしながら対応していく。							
R元事業実績	新庁舎構想の中に、他課との共有ではあるが、プライバシーが守られる個室について十分な数の確保ができた。《平成30年度実績と変更なし、新庁舎建設まで状況が変わらないため》							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	新庁舎では安心して相談ができるスペースが確保できたことで、被害者に安心感が生まれる。							
事業の実施状況を踏まえた課題	新庁舎が出来るまでの間、家庭児童相談室を別室に据え置くことで、プライバシーを配慮する対策を講じるが、子育て支援課との連携が希薄にならないようにすることが課題である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【5】 相談室の整備
------	------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援課長	B⇒ B	家庭児童相談室を別室で設けており、相談者のプライバシーが確保できる体制が整っている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 【6】 DV被害者が一時的に避難できる場所の確保

施策の内容 緊急に保護を求めてきた被害者が、一時保護が行われるまでの間、一時的に避難できる場所を、香川県子ども女性相談センターや警察と連携しながら確保します。

102		数値目標						目標値
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	
R元事業計画	・被害者の安全確保のため、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を強化する。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・被害者の安全確保を第一に考え、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を図る。							
R元事業実績	県や警察と連携を取りながら、スムーズに被害者を保護することができた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	スムーズに保護できたため、被害が最小限で収まった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	緊急的なものは県のシェルターで保護しているが、すぐにシェルターへ入所できない場合、一時的に避難できる場所を何らかの形で確保していくことが今後の課題である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【6】DV被害者が一時的に避難できる場所の確保
------	-------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援課長	B⇒ B	県の子ども女性相談センターや児童相談所、警察などと適切な連携を図っており、今後もこの方向で進めていきたい。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。



目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
------	---------------------------------------

施策の内容	被害者の立場を十分考慮したうえで、自立した生活に向けた支援を行います。
-------	-------------------------------------

103		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	人権課男女共同参画室		/	/	/	/	/	/	/
R元事業計画	・「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」、「DV対策ネットワーク会議」において、暴力の実態や対応に関して庁内関係各課や関係機関と情報共有を行い、共通認識を持てるようにする。								
R元事業計画に関する具体的な目標	「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」（1回参加）と「DV対策ネットワーク会議」（1回開催）において、情報共有を行う。								
R元事業実績	7月18日開催の「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」において、関係各課・機関の取組内容や課題について情報共有を行った。「DV対策ネットワーク会議」は、講師依頼予定であった医師が新型コロナウイルス感染症対策のため、忙しく開催することを見合わせた。								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	暴力の実態についてDV対策ネットワークの参加者共通の認識とするため、医師による講演を計画するところまで実現した（新型コロナの影響で実施できなかったが）								
事業の実施状況を踏まえた課題	会の運営を改善する方策を実現できるよう調整する段階に至ったが、実現できていない。								

104		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	・自立のために最低限必要な住居と生活資金を確保するため、各関係機関の情報を収集し、連携を強化していく。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・DV被害者の自立に向けた支援について、県と十分な連携を図り、住宅課、社会福祉協議会、福祉課及び学校教育課の協力を得ながら対応していく。 ・一時保護から自立するまでの半年から1年の間、県営住宅で一時的に住居を無償提供してもらえるよう働きかけていく。							
R元事業実績	DV被害者の自立に向け、住宅課、福祉課の協力を得て被害者の自立を支援した。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	連携により、スムーズに保護することはできていたが、シェルターに一時避難した者が自立するまでの間、シェルターに余裕が無いため、本市の市営住宅で確保しているDV支援のための住居へ避難者を斡旋してくるケースが増えた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	香川県内で市営住宅のDV被害者枠を提供している市が丸亀市1か所のみなので、近隣の市町から避難したものだけでなく、本市から避難したものまで本市の支援住宅へ斡旋してくるケースが1件あった。これらのことは避難者の危険度が高くなるため対応を控えたい。よって、本市だけでなく県営住宅でも同様の対応をしてもらうよう要望していくことが課題である。							

105		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画								
R元事業計画に関する具体的な目標								
R元事業実績								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題								

106		数 値 目 標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元 事業計画	・男性への支援ができる情報を収集する。							
R元事業計画に関する 具体的な目標	・県への協力を仰ぎながら、市で対応可能なものを検討していく。							
R元 事業実績	県の子ども女性相談センターを紹介する。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	相談先を紹介することで、ひとまずの安心を与えることができた。 令和元年度実績：4件							
事業の実施状況を踏まえた課題	男性の相談に対する支援について女性相談員だけでなく男性相談員が対応するよう配慮したり、男性の一時的避難場所の確保や自立支援にむけた体制づくりが今後の課題である。							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
----------	---------------------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	・「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」、「DV対策ネットワーク会議」において、暴力の実態や対応に関して庁内関係各課や関係機関と情報共有を行い、共通認識を持つことができている。
子育て支援課長	B⇒ B	DV被害者への自立支援については、県や庁内の関係各課と十分な連携をとりながら実施できている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。